

## 平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月27日

上場会社名 日本農産工業株式会社  
 コード番号 2051 URL <http://www.nosan.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀尾 守  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員業務推進部長 (氏名) 山根 恭一  
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

上場取引所 東大

TEL 045-224-3703

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	76,937	—	399	—	701	—	482	—
20年3月期第2四半期	68,478	19.0	1,781	32.2	1,838	39.5	1,644	139.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	3.97	3.97
20年3月期第2四半期	13.54	13.53

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
21年3月期第2四半期	65,868	—	21,696	—	32.9	178.32
20年3月期	62,827	—	22,000	—	35.0	180.87

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 21,680百万円 20年3月期 21,990百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					年間
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
20年3月期	—	—	—	—	6.50	6.50
21年3月期	—	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	5.00	5.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 有

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	162,000	14.1	1,500	△16.3	1,800	△12.0	1,100	△38.7	9.05

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 — 社(社名) ) 除外 — 社(社名) )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 [(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 有  
 [(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 129,309,932株 20年3月期 129,309,932株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 7,726,720株 20年3月期 7,731,935株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 121,581,890株 20年3月期第2四半期 121,501,108株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成20年4月28日発表の連結業績予想は、本資料において修正しています。
- 業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。上記業績予想の具体的な修正内容は本日別途開示する「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
- 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原油や原材料価格の高騰が個人消費や企業収益を圧迫し、サブプライム問題に端を発した金融不安の影響など、景気の先行きに不透明感が増す状況になりました。

飼料・畜産業界においては、畜産飼料の全国流通量は前年同期とほぼ同水準で推移しています。また畜産物相場は、牛肉相場を除き前年同期と比較し高値で推移しました。

このような環境のなか、当社グループは、飼料事業はもとより、食品事業・ライフテック事業を含めたグループ全体において、より安全安心な製品を提供するために品質管理体制を一層強化するとともに、お客様ニーズを的確、迅速に把握し、スピーディーな対応に努めています。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は769億円（前年同期比112%）、営業利益は3億99百万円（前年同期比22%）、経常利益は7億1百万円（前年同期比38%）、四半期純利益は4億82百万円（前年同期比29%）となりました。

事業別の状況は、以下の通りです。

## 【飼料事業】

畜産飼料は、販売数量は前年同期に比べ減少しましたが、売上高は販売価格の値上げにより前年同期を上回りました。

利益面においては、配合飼料価格安定基金積立金の積み増し等によるコスト負担増があったこと、原料価格の高騰を製品価格に転嫁しきれなかったために、前年同期を大幅に下回りました。

水産飼料においては、たい用・はまち用飼料の減少等により、販売数量・利益とも前年同期を下回りました。

以上の結果、営業利益は4億55百万円となり、前年同期に比べ12億79百万円減益となりました。

## 【食品事業】

「ヨード卵・光」は、販売数量が家庭用、業務用とも伸び悩み、利益面でも前年同期を下回りました。

また、鶏卵農場子会社の利益は、鶏卵相場が前年に比べ高値で推移したものの、飼料価格の値上げなどコストの増加があり、前年同期を下回りました。

以上の結果、営業利益は1億88百万円となり、前年同期に比べ2億34百万円減益となりました。

## 【ライフテック事業】

ペットフードは、子会社ペットラインが前期に引き続き、主力商品「キャネットチップ」の売上が好調なのに加え、犬用・猫用プレミアムフードの「メディコート」「メディファス」も売上が順調で大幅な増益となりました。

バイオ新分野は、ADME/Tox（薬物動態および毒性試験）分野でマイクロソームの売上は好調でしたが、受託試験の売上が前年同期を下回りました。

以上の結果、営業利益は4億63百万円となり、前年同期に比べ1億5百万円増益となりました。

なお、「前年同期比」「前年増減額」は、参考として記載しています。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### （資産）

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は前連結会計年度末に比べ、30億40百万円の増加となりました。これは主として受取手形及び売掛金の増加13億11百万円、たな卸資産の増加13億97百万円等によるものです。

### （負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は前連結会計年度末に比べ、33億44百万円の増加となりました。これは主として支払手形及び買掛金の増加23億89百万円等によるものです。

### （純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は前連結会計年度末に比べ、3億3百万円の減少となりました。これは主として当四半期純利益4億82百万円、配当金の支払7億90百万円等によるものです。

## （連結キャッシュ・フローについて）

### 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は19億円となりました。

これは主として売上債権の増加13億11百万円、たな卸資産の増加14億30百万円、仕入債務の増加23億89百万円、法人税等の支払額6億98百万円等によるものです。

### 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は3億65百万円となりました。

これは主として固定資産の取得による支出4億43百万円、固定資産の売却による収入91百万円等によるものです。

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は23億45百万円となりました。

これは主として配当金の支払額7億81百万円、借入金増加32億42百万円等によるものです。

これらの結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は5億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ79百万円の増加となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想については、本日別途開示する「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

重要性が乏しい連結会社においては税金費用の計算にあたり、税引前四半期純利益に前連結会計年度の税効果適用後の法人税等の負担率を乗じて計算しています。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しています。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しています。この変更に伴う損益に与える影響は軽微です。

③「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号）を第1四半期連結会計期間から早期に適用しています。この変更に伴う影響は軽微です。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	564	484
受取手形及び売掛金	26,584	25,272
商品及び製品	2,442	2,069
仕掛品	2,046	1,842
原材料及び貯蔵品	6,026	5,209
その他	3,924	3,622
貸倒引当金	△157	△150
流動資産合計	41,430	38,351
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,179	7,394
機械装置及び運搬具（純額）	4,412	4,728
土地	3,555	3,594
その他（純額）	603	532
有形固定資産合計	15,750	16,249
無形固定資産		
	497	550
投資その他の資産		
投資有価証券	5,868	5,634
その他	2,597	2,421
貸倒引当金	△276	△379
投資その他の資産合計	8,189	7,676
固定資産合計	24,437	24,476
資産合計	65,868	62,827

（単位：百万円）

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,412	18,022
短期借入金	12,051	9,379
未払法人税等	357	750
その他	4,361	6,332
流動負債合計	37,182	34,486
固定負債		
長期借入金	6,021	5,449
退職給付引当金	306	297
その他	662	593
固定負債合計	6,989	6,341
負債合計	44,172	40,827
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,411	7,411
資本剰余金	2,768	2,767
利益剰余金	12,875	13,183
自己株式	△1,657	△1,658
株主資本合計	21,397	21,703
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	291	296
為替換算調整勘定	△8	△9
評価・換算差額等合計	283	286
新株予約権	15	10
純資産合計	21,696	22,000
負債純資産合計	65,868	62,827

(2) 四半期連結損益計算書  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	76,937
売上原価	69,243
売上総利益	7,693
販売費及び一般管理費	7,294
営業利益	399
営業外収益	
受取利息	11
受取配当金	31
持分法による投資利益	327
その他	96
営業外収益合計	467
営業外費用	
支払利息	118
その他	47
営業外費用合計	165
経常利益	701
特別利益	
固定資産売却益	43
受取保険金	90
特別利益合計	134
特別損失	
固定資産売却損	1
固定資産除却損	12
投資有価証券売却損	21
特別損失合計	35
税金等調整前四半期純利益	800
法人税等	309
少数株主利益	8
四半期純利益	482

## （3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

当第2四半期連結累計期間  
（自平成20年4月1日  
至平成20年9月30日）

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	800
減価償却費	1,009
長期前払費用償却額	57
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△11
未払賞与の増減額（△は減少）	△221
退職給付引当金の増減額（△は減少）	8
受取利息及び受取配当金	△43
支払利息	118
持分法による投資損益（△は益）	△327
固定資産売却損益（△は益）	△32
固定資産除却損	15
投資有価証券売却損益（△は益）	21
売上債権の増減額（△は増加）	△1,311
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,430
仕入債務の増減額（△は減少）	2,389
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△521
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△1,840
未払消費税等の増減額（△は減少）	△2
その他	119
小計	△1,201
法人税等の支払額	△698
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,900
投資活動によるキャッシュ・フロー	
利息及び配当金の受取額	42
固定資産の取得による支出	△443
固定資産の売却による収入	91
投資有価証券の取得による支出	△59
投資有価証券の売却による収入	25
短期貸付金の増減額（△は増加）	146
長期貸付けによる支出	△211
長期貸付金の回収による収入	324
その他の支出	△303
その他の収入	22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△365
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額（△は減少）	2,460
長期借入れによる収入	1,850
長期借入金の返済による支出	△1,067
自己株式の取得による支出	△0
自己株式の処分による収入	1
配当金の支払額	△781
利息の支払額	△116
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,345
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	79
現金及び現金同等物の期首残高	484
現金及び現金同等物の四半期末残高	564

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年9月30日）

（単位：百万円）

	飼料事業	食品事業	ライフテック事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	62,526	7,757	6,652	76,937	—	76,937
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	1,056	9	1,056	2,122	(2,122)	—
計	63,583	7,767	7,709	79,059	(2,122)	76,937
営業費用	63,128	7,578	7,246	77,952	(1,415)	76,537
営業利益	455	188	463	1,107	(707)	399

（注）1. 事業区分の方法

事業区分は、製品の種類・性質及び市場の類似性を考慮して区分しています。

2. 各事業の主な製品及び事業内容

(1)飼料事業・・・鶏用飼料、豚用飼料、牛用飼料及び魚用飼料

(2)食品事業・・・ヨード卵、ヨード卵関連商品、鶏卵

(3)ライフテック事業・・・ペットフード、馬用飼料、実験動物及び実験動物用飼料、バイオ関連商品

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年9月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店が無いため、記載していません。

【海外売上高】

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、その記載を省略しました。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 【参考資料】

前年同四半期に係る財務諸表等

## (1) 中間連結（要約）損益計算書

(単位：百万円)

摘 要	前中間連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)
I 売上高	68,478
II 売上原価 (売上総利益)	59,562 ( 8,916 )
III 販売費及び一般管理費	7,134
営業利益	1,781
IV 営業外収益 受取利息及び配当金 その他	231 62 168
V 営業外費用 支払利息 その他	175 126 48
経常利益	1,838
VI 特別利益 固定資産売却益 投資有価証券売却益 その他	1,601 41 1,490 70
VII 特別損失 固定資産売却損 その他	340 11 329
税金等調整前中間純利益	3,099
法人税、住民税及び事業税	1,444
少数株主利益	9
中間純利益	1,644

## (2) 中間連結(要約)キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

項 目	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1. 税金等調整前中間純利益	3,099
2. 税引前利益の調整	
減価償却費	1,065
引当金の増減(△)額	△ 91
その他の増減(△)額	△ 1,477
3. 資産及び負債の増減	
売上債権の増(△)減額	△ 1,429
棚卸資産の増(△)減額	△ 1,573
その他の流動資産の増(△)減額	△ 266
仕入債務の増減(△)額	1,553
その他の流動負債の増減(△)額	△ 239
4. 法人税等の支払額	△ 666
合 計	△ 26
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1. 固定資産の取得による支出	△ 365
2. 固定資産の売却による収入	59
3. 投資有価証券等の増(△)減	1,556
4. 貸付金の増(△)減	303
5. その他投資等の増(△)減	△ 162
合 計	1,391
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1. 短期借入金の増減(△)額	680
2. 長期借入金の返済による支出	△ 1,164
3. 配当金の支払額	△ 780
4. 自己株式の取得による支出	△ 1
5. 自己株式の処分による収入	34
6. その他の増減(△)額	△ 127
合 計	△ 1,359
IV 現金及び現金同等物の増減額	5
V 現金及び現金同等物の期首残高	528
VI 現金及び現金同等物の中間期末残高	533

## (3) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前中間連結会計期間（自平成19年4月1日至平成19年9月30日）

（単位：百万円）

	飼料事業	食品事業	ライフテック事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	55,077	7,490	5,911	68,478	—	68,478
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	949	12	793	1,754	(1,754)	—
計	56,026	7,502	6,704	70,233	(1,754)	68,478
営業費用	54,291	7,079	6,346	67,717	(1,021)	66,696
営業利益	1,734	423	357	2,515	(733)	1,781

## (注)1. 事業区分の方法

事業区分は、製品の種類・性質及び市場の類似性を考慮して区分しています。

## 2. 各事業の主な製品及び事業内容

(1) 飼料事業・・・鶏用飼料、豚用飼料、牛用飼料及び魚用飼料

(2) 食品事業・・・ヨード卵、ヨード卵関連商品、鶏卵

(3) ライフテック事業・・・ペットフード、馬用飼料、実験動物及び実験動物用飼料、バイオ関連商品

## 【所在地別セグメント情報】

前中間連結会計期間（自平成19年4月1日至平成19年9月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店が無いため、記載していません。

## 【海外売上高】

前中間連結会計期間（自平成19年4月1日至平成19年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、その記載を省略しました。